

2018 年、生まれかわりの旅で注目を集める
日本遺産出羽三山シンポジウム in 東京
「出羽三山、時空を歩く」への参加申込受付開始
2/9 夜、東京・新宿区立四谷区民ホールにて開催、参加無料

山形県庄内地方の魅力を地域文化情報誌“Cradle”などを通じ発信している、(株)出羽庄内地域デザイン（本社：山形県鶴岡市 代表取締役：小林好雄 HP：<http://www.cradle-ds.jp/>）は、出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会からの委託を受け、日本遺産出羽三山シンポジウム in 東京「出羽三山、時空を歩く」を2月9日、東京の新宿区立四谷区民ホールで開催します。このイベントへの参加申し込み受付をホームページ（http://www.cradle-ds.jp/ryoko/symposium_tokyo.html）で開始しました。参加費は無料です。

山形県の庄内地方と内陸地方の間にそびえる出羽三山は、自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」として2016年4月に日本遺産に認定されました。日本古来の、山の自然と信仰の結びつきを今に伝え、羽黒山、月山、湯殿山の出羽三山を巡ることは、「生まれかわりの旅」として江戸時代に庶民の間に広がりました。樹齢300年を超える杉並木に包まれた2,446段の石段から始まる出羽三山の魅力を、世界で活躍する写真家2名、山伏2名、計4人によるパネルディスカッションでわかりやすくお伝えします。現地を何度も訪れ、その歴史と文化を深く知る登壇者の出羽三山との関わり、思いをどうぞこのシンポジウムでお聞きください。

なお、日本遺産「出羽三山～生まれかわりの旅～」についての詳細情報はこちらからもご覧いただけます。<https://nihonisan-dewasanzan.jp/>

● **日本遺産出羽三山シンポジウム概要**

内容：パネルディスカッション

テーマ「出羽三山、時空を歩く～日本遺産『生まれかわりの旅』～」

日時： 2月9日（金） 19：00 開場
19：30 パネルディスカッションスタート
21：10 閉会

募集人数： 400名

会場： 新宿区立四谷区民ホール（四谷区民センター9F）
新宿区内藤町87
東京メトロ 丸ノ内線新宿御苑前駅から徒歩5分

パネリスト： 写真家 稲田美織氏
山伏： 坂本大三郎氏
山伏： 大槻レナ氏
写真家 エバレット・ブラウン氏
*プロフィール詳細は次頁に掲載

コーディネーター：小林好雄
（出羽庄内地域文化情報誌クレードル編集

長）

申し込み方法：下記HPからお申し込みください。

http://www.cradle-ds.jp/ryoko/symposium_tokyo.html

お問い合わせ：株式会社出羽庄内地域デザイン

電話：0800-800-0806（フリーアクセス）



登壇者プロフィール



写真家 稲田美織氏

多摩美術大学油絵学科卒業後、一橋中学にて美術教員を務めたのち、1991年よりNYでフリー写真家として活動。2001年のNY同時多発テロ目撃を契機に世界中の聖地を撮影。2006年より伊勢神宮の式年遷宮に関わる撮影を開始。2016年4月写真書籍・全編英語版『Ise Jingu and the Origins of Japan』発刊。ハーバード大など世界各地で展覧会を開催。著書に『聖地へー神々の大地に祈る』（ランダムハウス講談社）など。



山伏： 坂本大三郎氏

東北を拠点に活動する山伏。春には山菜を採り、夏には山に籠り、秋には各地の祭りをたずね、冬は雪に埋もれて暮らす。美術作家として「山形ビエンナーレ」、「瀬戸内国際芸術祭 2016（秋期）」などに参加。著書に『山伏と僕』（リトルモア）など。



山伏： 大槻レナ氏

秘境を旅するバックパッカーの後、化粧品会社勤務。その後著名写真家の専属プロデューサーとして展覧会、イベント企画など担当。2011年の東日本大震災を機に常勤を退きアソシエイトプロデューサーに。現在は父親の経営する会社を継ぎ、代表取締役を務める。母親の故郷である長野県飯山市で、修験を復活させる活動や、都会の人々が多拠点生活をするための場づくりなども行っている。



写真家 エバレット・ブラウン氏

アメリカ・ワシントンDC生まれ。大学時代に文化人類学を学び、世界を旅する中で、1986年に日本に移住。epa 通信社日本支局長を経て、現在は日本の本流を探求する手法として「湿板写真」を用い、日本文化の多様性を表現している。文化庁長官表彰（文化発信部門）被表彰者。2017年5月写真集『Japanese Samurai Fashion』発刊。著書に『俺たちのニッポン』（小学館）など。

【山形県庄内地方】

最上川が海に注ぎ、北に出羽富士と称される鳥海山、東に山岳修験の聖地・出羽三山、南にブナ原生林の地・朝日連峰、そしてその三方の山々に抱かれるように日本有数の穀倉地・庄内平野が広がる、自然豊かな地域です。古くは出羽国として栄え、その後、出羽三山を代表する山岳信仰や、質実剛健な城下町としての歴史、そして自由闊達な湊町の文化などが共に育まれ、共存してきました。日本が本来持っているうつくしさやなつかしさ、日本の原風景ともいえる風土・文化が残されています。